

## わたしたちの宝「灰ヶ峰」

－ ふるさとの生き物たちを守る －

- 1 学 年 第4学年〔前期〕
- 2 主題名 自然の命を守る〔3－（1）〕
- 3 ねらい 灰ヶ峰自然観察会に参加したまもるの気持ちを考えることを通して、ふるさとに住んでいる生き物の命を大切にしようとする心情を育てる。
- 4 資料名 「わたしたちの宝『灰ヶ峰』」
- 5 展 開

	学習活動と主な発問	児童の反応	指導上の留意点
導 入	1 アサギマダラについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きれいなチョウだな。</li> <li>・ 見てみたいな。</li> </ul>	○ アサギマダラの写真を提示することで、資料への興味付けをする。
展 開	2 資料「わたしたちの宝『灰ヶ峰』」を読んで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少し早く灰ヶ峰公園に着いたまもるはどんなことを考えていたでしょう。</li> <li>○ 捕まえたアサギマダラを見ながら話している人たちを見て、まもるはどんなことを考えたでしょう。</li> <li>○ マーキングをしたアサギマダラが灰ヶ峰の空に飛び立っていくのを見ながら、まもるはどんな気持ちだったでしょう。</li> </ul> ◎ 「わたしたち人間もいろいろな生き物のおかげで生きているんだ。」という「ひろしま自然の会」の方の言葉を聞いて、まもるはどんなことを思ったでしょう。  3 自分の経験を振り返って話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な生き物の命を大切にしたら経験はありますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しみだな。</li> <li>・ アサギマダラと出会いたいな。</li> <li>・ みんなアサギマダラが見つかってうれしいんだな。</li> <li>・ 元気でとんでいけよ。</li> <li>・ どこに行くのかな。</li> <li>・ 誰かが見つけてくれたらいいな。</li> <li>・ 生き物を大切にしていかなければいけないな。</li> <li>・ ぼくも、みんなのように生き物が元気にすめる灰ヶ峰にしていこう。</li> <li>・ 巣から落ちていたすずめのヒナを育てたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アサギマダラとの出会いに期待をよせるまもるの気持ちに共感させる。</li> <li>○ 生き物たちを大切にしていこうとする人々の気持ちに寄り添っていくまもるに共感させる。</li> <li>○ 飛び立つアサギマダラのペープサートを使って役割演技をさせ、まもるの気持ちを考えさせる。</li> <li>○ ワークシートにまもるの気持ちを書かせることにより、まもるの思いを深く考えられるようにする。</li> <li>○ あらかじめ生き物を飼った経験等を調べておく。</li> </ul>
終 末	4 教師の説話を聞く。		○ 生き物を飼った経験など、命を大切にしようとする意欲付けとなるような話をしたり、BGMを流したりする。

## 6 授業の概要

### (1) 主題について

灰ヶ峰は、呉を代表する山の一つであるとともに「生き物の宝庫」と言われるほど様々な生き物が生息している自然あふれる山である。この灰ヶ峰の生き物たちに関心をもたせ、豊かな灰ヶ峰を守っていきたいと願う「ひろしま自然の会」の方たちの思いに共感させることを通して、生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすることを育てたい。

### (2) 自作資料活用のポイント

#### ア 時期・関連する教科

4年生では、理科において4・5月に「春の自然」の学習を行う。植物や昆虫、鳥などの観察を通して、春の自然を感じ取る学習に関連させることにより、体験したことが道徳の時間の学習に結びつき効果的である。また、「夏の自然」、「秋の自然」等の学習についても同様の扱いをするとよい。

#### イ 中心場面

自然観察会を行うようになった理由や生き物の命についての、「ひろしま自然の会」の方々の思いを語っている場面を中心場面にしたい。また、その思いを考えさせ共感させることによって、ねらいにせまらせたい。

#### ウ 活用に当たっての留意点

チョウ等の生き物について写真資料や灰ヶ峰についての資料等も用意したい。また、「灰ヶ峰公園自然観察会」や「ひろしま自然の会」についてもホームページ等によりくわしい活動等を事前に調べておくことも考えられる。専門的な事柄も多くあるので、補足説明を加えながら授業を進めたい。

「自然愛護」とも深く関わる内容であるが、ねらいである生命尊重の視点をしっかり意識して授業を進めていく必要がある。

### (3) 指導過程の工夫

#### ア 導入の工夫

「アサギマダラ」の写真や「灰ヶ峰」の写真等での導入により、価値への方向付けをする。

#### イ 展開の工夫

主人公「まもる」の気持ちに寄り添って考えさせたい。専門的な事柄もあるため、アサギマダラの生態等の補助資料を用意したい。

また、マーキングをしたアサギマダラが飛び立つときのまもるの気持ちを考える場面では、アサギマダラのペープサート等を用いて、まもるの気持ちが考えやすいようにしていく工夫も考えられる。

「生命尊重」への視点を明確にするためにも、あらかじめ生き物を飼った経験を調べておき、展開後段において活用したい。

#### ウ 終末の工夫

命を大切に、守る活動を行っている団体や人々の思いを紹介したり、BGMを流しながら詩の朗読をしたりする等により、余韻のある終末にしたい。

## 《 資 料 》

### ひろしま自然の会

広島県とその周辺の自然環境・生物の調査及び研究，自然保護等の活動を行っている任意団体である。呉市関係では，灰ヶ峰自然観察会以外に二河公園で二河公園観察会を行っている。

(<http://ww4.tiki.ne.jp/~quercus/hiroshima-sizennokai.htm>)

### 灰ヶ峰公園自然観察会

毎月一回「ひろしま自然の会」の会員の方々が中心となって行っており，灰ヶ峰にすむ生き物を見つけたり，植物を観察したりしながら，灰ヶ峰の自然とふれあう活動である。

(<http://www.kuredesign.net/haigamine/>)

### アサギマダラ

チョウの一種。翅の模様が鮮やかな大型のチョウで，長距離を移動することでも知られている。日本全土から朝鮮半島，中国，台湾，ヒマラヤ山脈まで広く分布する。成虫は一年のうちに，日本本土と南西諸島，台湾の間を往復していることが知られている。移動の研究は，捕獲した成虫の翅の半透明部分に捕獲場所・年月日・連絡先などをマジックインキで記入（マーキング）しておき，再び捕獲された場所・日時を確認する等の方法により行われている。